



FUJIKURA COMPOSITES

INTERIM BUSINESS REPORT

2023 第144期 中間報告書
2022年4月1日～2022年9月30日

激変する事業環境の中で 当社グループに相応しい 持続的成長を目指していきます。



代表取締役社長 森田健司

日頃は格別のご支援を賜りお礼申し上げます。

ここに当社グループ（当社および連結子会社）の第144期第2四半期（2022年4月1日～2022年9月30日）の事業の概況と業績についてご報告いたします。

Q1 上期を振り返り、営業状況について お聞かせください

上期は、当社グループの主力である産業用資材セグメントの工業用品部門で、半導体等の部品調達難や中国でのロックダウンを受けて、主要顧客での減産が続いたことや、原材料費、エネルギー費、物流費の継続的な高騰などの外部要因の影響を受けて、売上高は前年同期比微増となったものの、大幅な営業利益減になりました。

一方、スポーツ用品セグメントでは、ゴルフ用カーボンシャフトで米国モデル「VENTUS」 「VENTUS TR」の販売が好調に推移し、10月発売の日本モデル「SPEEDER NX GREEN」の先行受注やクラブメーカー向けOEM品への採用増から大幅な増収増益となり、グループ全体の業績を牽引しました。

これらの結果、上期の売上高は前年同期比15.0%増となったものの、営業利益では前年同期比1.2%減、経常利益は、円安の為替差益が計上されたことで前年同期比12.7%増となりました。

Q2 下期の展望と通期業績の見通しをご説明願います

下期は、様々な地政学リスクを踏まえた主要顧客の動向を見据え、柔軟な対応を推進して着実な売上を確保するとともに、昨今の円安を踏まえ、想定為替レートを1ドル120円から135円に引き上げました。また、原材料費、エネルギー費、物流費の高騰などの外部要因を製品価格に転嫁する活動に注力して利益率の改善にも取り組んでいきます。

以上を踏まえた通期の連結業績は、従来の予想数値を上方修正し、売上高406億円（前期比9.2%増）、営業利益46億円（同10.6%増）、経常利益53億円（同10.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益43億円（同5.8%増）を想定しています。

この上方修正をベースに、中期経営計画の見直しにも着手します。大きな方向性は堅持しつつ、当期の状況を踏まえ、2023年6月の決算発表時に、新たな中期経営計画を発表する計画です。

Q3 株主の皆様にお伝えしたいメッセージをお願いします

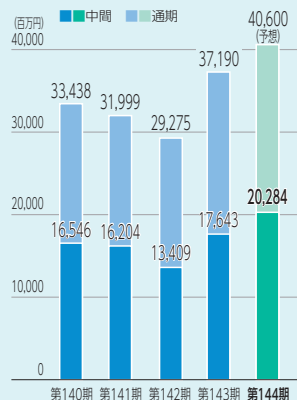
これまでの成長・発展を支えていただいた株主の皆様への感謝を込め、この度の中間配当は1株当たり20円（前年同期比10円増配）、期末配当予想は1株当たり20円（前年同期比4円増配）としました。なお、内部留保は、遊休生産工場の利用や老朽化した設備の更新などの投資資金として有効活用していく計画です。

また、取締役会の実効性評価を踏まえ、取締役会の多様性の強化や重要テーマ討議に向けたガバナンス制度の改革や後継者育成システムの改善を図り、当社グループに相応しいガバナンス体制構築を進めていきます。

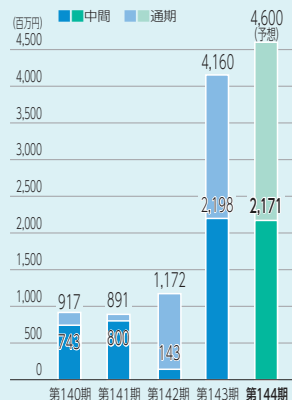
創業120周年を区切りとして、激変する事業環境に対応しながら、堅実経営で培ってきた当社グループに相応しい持続的成長を目指していきます。

株主の皆様には、なお一層のご愛顧とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

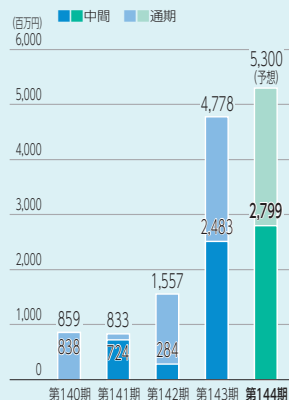
連結売上高の推移



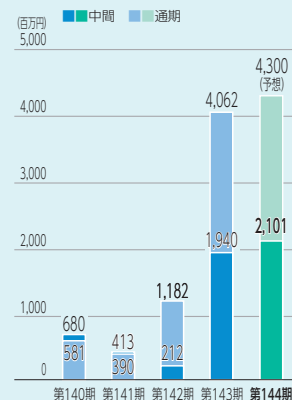
連結営業利益の推移



連結経常利益の推移



親会社株主に帰属する
四半期(当期)純利益の推移



TOPIC 1

医療分野の生産体制を強化してまいります。

当社はワクチン・バイオ医薬・再生医療などの発展に貢献することを目的にパートナーシップ「J-STAC[※]」を形成しました。また「ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業費補助金」の実施事業者として採択され、シリコンゴムなどの素材を使った「無菌接続コネクタ」や「送液用シリコンチューブ」および、樹脂配管などの漏れを防ぐ「ガスケット」など計3種類の製品の開発を行い 2024年4月までに製品の発売を目指します。これらの製品は現在100%輸入に頼っておりますが、2027年度には50%を国産化するべく活動を進め、ワクチン・バイオ医薬・再生医療などの製品開発に注力することで社会へ貢献してまいります。

【J-STAC】

Japan Single-use Technology Advanced Collaboration (シングルユース技術国産化共同体)

【パートナーシップ企業】

藤森工業株式会社、東京計装株式会社、ニッタ株式会社、株式会社ロキテクノ、藤倉コンポジット株式会社



福島県南相馬市にあります原町工場内LIM棟のクリーンルームで医療関係製品の製造を行います。

TOPIC 2

フジクラシャフト 新商品のご案内

『SPEEDER NX GREEN』誕生。

前作モデルの売上を大幅に上回り、国内女子ツアーでも12勝を挙げている『SPEEDER NX(スピーダー エヌエックス)』をさらに進化させ、トルクを加速に転換しボール初速アップを実現した『SPEEDER NX GREEN(スピーダー エヌエックス グリーン)』を、2022年10月6日(木)より発売しました。

『SPEEDER NX GREEN』は、『SPEEDER NX』をベースに、フジクラ独自の設計技術「VTC(ヴィティーシー)」をアップデート。中間部と手元側のねじり剛性差を大きくすることで、さらなるボール初速アップを実現しました。また手元のロートルク化、先端EI剛性を高めることで、一体感のあるシャフト挙動で、前に強い弾道で飛距離アップに貢献します。

商品情報の詳細は、HPをご覧ください。

<https://www.fujikurashaft.jp/>

フジクラシャフト

検索

カチッ!



TOPIC 3

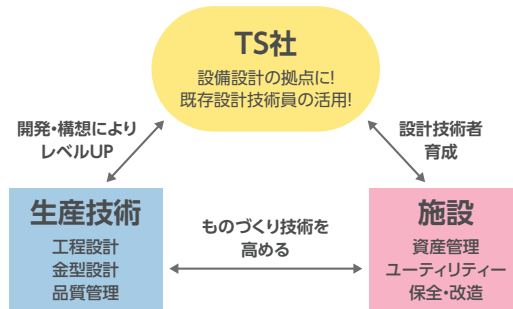
有限会社テクノロジーサービスを 子会社化いたしました。

当社はこの度有限会社テクノロジーサービス(以下TS社)の株式を取得し、子会社化いたしました。

TS社は自動化・省人化装置の設計及び製作を主な事業としており、当社が推進している生産性向上の取り組みをより加速させる重要な技術を有しております。

今後も、複合化技術で様々な製品を生み出し、社会の豊かさに貢献してまいります。

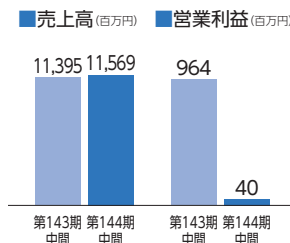
設備エンジニアの人材強化を図る!



57.0% 産業用資材

工業用品部門は、半導体等の部品調達難や中国におけるロックダウンの影響により、主要顧客での減産が続き減収となり稼働率の低下による操業度差損や原材料費、エネルギー費、物流費の継続的な高騰などの外部要因の影響もあり営業損失となりました。制御機器部門は、液晶市場の投資の後倒があり低調となりましたが、半導体市場の設備投資が引き続き好調を維持し、医療市場も好調に推移したことで増収増益となりました。

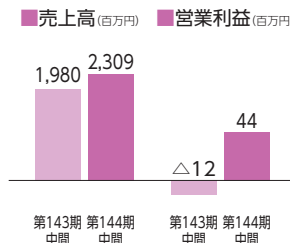
この結果、売上高は115億6千9百万円(前年同四半期比1.5%増)、営業利益は4千万円(前年同四半期比95.8%減)となりました。



11.4% 引布加工品

引布部門は、一般ゴム引布の新規品立上げなどにより好調を維持しておりますが、原材料費やエネルギー費などの上昇により、増収減益となりました。印刷材料部門は、輸出の受注回復及び円安の影響により、増収増益となりました。加工品部門は、円安の影響もあり舶用品の輸出が堅調に推移し、増収増益となりました。

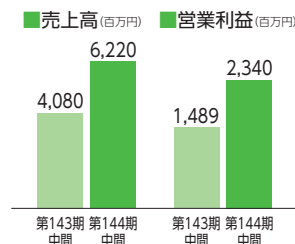
この結果、売上高は23億9百万円(前年同四半期比16.6%増)、営業利益は4千4百万円(前年同四半期は営業損失1千2百万円)となりました。



30.7% スポーツ用品

ゴルフ用カーボンシャフト部門は、米国モデル『VENTUS』『VENTUS TR』の販売が好調に推移し、また10月発売の日本モデル『SPEEDER NX GREEN』の先行受注が計画を上回り、さらにクラブメーカー向けOEM品への採用も増えたことにより増収増益となりました。アウトドア用品部門は、ハイキング・トレッキング市況の回復基調により売上高は大きく伸びましたが、円安による仕入れ価格の継続的な高騰の影響をカバーしきれず、増収減益となりました。

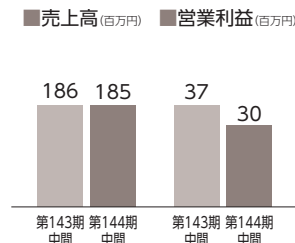
この結果、売上高は62億2千万円(前年同四半期比52.4%増)、営業利益は23億4千万円(前年同四半期比57.2%増)となりました。



0.9% その他

運送部門は、自動車関連の荷動きの低迷や原油価格の継続的な高騰による燃料費上昇などにより、減収減益となりました。

この結果、売上高は1億8千5百万円(前年同四半期比0.5%減)、営業利益は3千万円(前年同四半期比16.6%減)となりました。



連結財務諸表 Consolidated Financial Statements

■ 四半期連結貸借対照表 (要旨)

科 目	期 別	当第2四半期末 2022年9月30日現在	前期末 2022年3月31日現在
資産の部			
流動資産		25,161	23,735
現金及び預金		7,293	6,905
受取手形及び売掛金		10,448	10,710
商品及び製品		2,819	2,223
仕掛品		2,951	2,613
原材料及び貯蔵品		1,172	836
その他		569	512
貸倒引当金		△93	△66
固定資産		14,411	14,015
有形固定資産		12,040	11,808
無形固定資産		100	100
投資その他の資産		2,271	2,105
資産合計		39,573	37,750

(単位：百万円)

科 目	期 別	当第2四半期末 2022年9月30日現在	前期末 2022年3月31日現在
負債の部			
流動負債		6,443	8,636
固定負債		1,693	1,641
負債合計		8,136	10,277
純資産の部			
株主資本		29,080	26,283
資本金		3,804	3,804
資本剰余金		3,255	3,212
利益剰余金		23,105	21,341
自己株式		△1,085	△2,074
その他の包括利益累計額		2,350	1,180
新株予約権		5	9
純資産合計		31,436	27,473
負債純資産合計		39,573	37,750

■ 四半期連結損益計算書 (要旨)

(単位: 百万円)

科 目	期 別	当第2四半期 (累計) 2022年 4月 1日から 2022年 9月30日まで	前第2四半期 (累計) 2021年 4月 1日から 2021年 9月30日まで
売上高		20,284	17,643
売上原価		14,736	12,528
売上総利益		5,548	5,114
販売費及び一般管理費		3,376	2,916
営業利益		2,171	2,198
営業外収益		666	312
営業外費用		38	27
経常利益		2,799	2,483
特別利益		148	—
税金等調整前四半期純利益		2,947	2,483
法人税、住民税及び事業税		888	542
法人税等調整額		△ 42	0
四半期純利益		2,101	1,940
親会社株主に帰属する四半期純利益		2,101	1,940

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位: 百万円)

科 目	期 別	当第2四半期 (累計) 2022年 4月 1日から 2022年 9月30日まで	前第2四半期 (累計) 2021年 4月 1日から 2021年 9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー		1,336	1,824
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 535	△ 180
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 1,221	△ 1,253
現金及び現金同等物に係る換算差額		808	294
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)		387	685
現金及び現金同等物の期首残高		6,905	5,780
現金及び現金同等物の四半期末残高		7,293	6,465

会社概要 (2022年9月30日現在) Corporate Data

■ 会社概要

創 業 1901年 10月
資 本 金 38億 429万円
従 業 員 数 連結 2,565名
単体 770名

■ 役員

代 表 取 締 役 森 田 健 司
取 締 役 社 長
常 務 取 締 役 金 井 浩 一
常 務 取 締 役 高 橋 秀 剛
取 締 役 弓 削 千 賀 志
取 締 役 (社 外) 長 浜 洋 一
取 締 役 (社 外) 佐 々 木 聡
常 勤 監 査 役 植 松 克 夫
監 査 役 (社 外) 細 井 和 昭
監 査 役 (社 外) 田 中 響 子

● 取締役 長浜洋一及び佐々木聡並びに監査役 細井和昭及び田中響子の各氏を、東京証券取引所有価証券上場規程第436条の2に定める独立役員として同取引所に届け出ております。

■ 子会社 (*:連結対象)

会社名	国名	主要な事業内容
* 株式会社キャラバン	日本	アウトドア用品の販売
* 藤栄運輸株式会社	日本	運送事業
* Fujikura Composite America, Inc.	米国	ゴルフ用カーボンシャフトの販売
* FUJIKURA GRAPHICS, INC.	米国	印刷用ブランケットの販売
* IER Fujikura, Inc.	米国	工業用ゴム製品の製造販売
* 杭州藤倉橡膠有限公司	中国	工業用ゴム製品の製造販売
* 安吉藤倉橡膠有限公司	中国	工業用ゴム製品の製造販売
* FUJIKURA COMPOSITES HAIPHONG, INC.	ベトナム	産業用資材、引布加工品及びゴルフ用カーボンシャフトの製造
株式会社藤加工所	日本	救命筏、産業資材の製造
株式会社アールアンドアールフジクラ	日本	ゴルフクラブのリシャフト・フィッティング
株式会社藤光機械製作所	日本	産業用精密部品の製造
株式会社福島キャラバン	日本	アウトドア用品の流通
株式会社アイオス	日本	精密金属加工
Fujikura Composites Korea, Co., Ltd.	韓国	工業用ゴム製品、制御機器、アウトドア用品の販売
Fujikura Composites Europe B.V.	オランダ	印刷用ブランケットの販売
藤栄サービス株式会社	日本	障害者雇用を目的とした特例子会社
有限会社テクノロジーサービス	日本	自動化・省人化装置の設計及び製作

会社概要 (2022年9月30日現在) Corporate Data

■ 当社グループ主要製品及び商品

工業用品

ダイヤフラム、BFダイヤフラム、シール部品、精密部品、アンブレラ、ダックビル、防振ゴム、水ガバナ

制御機器

各シリンダ、レギュレータ（減圧弁）、流量調整弁、チェック弁、リリーフ弁

電気材料

超低硬度材料、各種機能性テープ、常温収縮チューブ、導電・絶縁材料、風力発電機用ブレード保護シート、マグネシウム空気電池

引布

ゴム引布、極薄ゴムシート、接着・粘着処理、ラテックス

印刷材料

印刷用ブランケット

加工品

船舶用救命設備、航空機用救命設備、コンサベータ、産業用資材

スポーツ用品

ゴルフ用カーボンシャフト、産業用CFRP製品、アウトドア用品

■ 当社事業所

本 社

〒135-0063 東京都江東区有明3-5-7 TOC有明

大阪支店

〒530-0018 大阪市北区小松原町2-4

勝田営業所

〒312-0041 茨城県ひたちなか市西大島2-6-21

名古屋営業所

〒460-0011 名古屋市中区大須4-1-40

岩槻工場・エンジニアリングセンター

〒339-8510 さいたま市岩槻区上野6-12-8

原町工場

〒975-0027 福島県南相馬市原町区上北高平字植松268

加須工場

〒349-1158 埼玉県加須市新利根1-4-4

株式の状況 (2022年9月30日現在) Stock Information

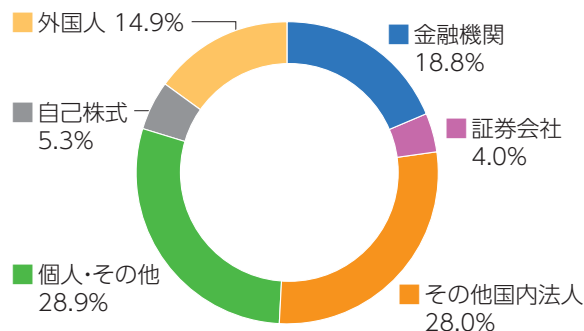
■ 株式の状況

発行可能株式総数 90,000,000株

発行済株式総数 23,446,209株

株 主 数 10,529名

■ 所有者別持株比率



■ 大株主の状況

株主名	持株数 (株)	出資比率 (%)
株式会社フジクラ	4,776,300	21.52
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,388,800	10.76
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,319,600	5.94
藤倉化成株式会社	569,840	2.57
藤倉航装株式会社	515,210	2.32
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	453,100	2.04
藤倉コンボジット従業員持株会	444,704	2.00
三井住友信託銀行株式会社	418,000	1.88
UBS AG LONDON A/C IPB SEGREGATED CLIENT ACCOUNT	369,445	1.66
SMBC日興証券株式会社	343,400	1.55

出資比率は、自己株式1,249,368株を除いて計算しております。

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会の 議決権・期末配当：毎年3月31日 中間配当：毎年9月30日
公告掲載方法	当社ホームページ
上場金融商品取引所	東京証券取引所プライム市場
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 受付時間 9:00～17:00 (土・日・祝日及び12/31～1/3を除く)

住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されてしまった株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

*確定申告をされる株主様は、大切に保管ください。

アウトドア机上講座のお知らせ

山の奥深い魅力を味わえる
『ガイド同行の登山教室』の他にも、
(株)キャラバンでは無料でご参加いただける学びの
場となる『机上講座』を開催しています。
講師には公益社団法人 日本山岳ガイド協会
理事長(武川俊二氏)を迎え、
山の楽しみ方や季節に応じた対応知識など
様々なノウハウを学べる場をご用意しています。



お申込みはこちらから!

[https://www.caravan-web.com/
seminar_form/](https://www.caravan-web.com/seminar_form/)



株主総会資料の電子提供制度のお知らせ

会社法改正により株主総会資料の電子提供制度が始まります

2023年3月以降の株主総会より、これまで郵送していた株主総会資料(招集ご通知)が原則ウェブ化されます。株主の皆様におかれましては、会社から通知書面にてご案内するウェブサイトへアクセスすることで、株主総会資料をご確認いただくことができます。当社では来年3月以降開催予定の定時株主総会から適用となります。

今までは...



- 議決権行使書
- 株主総会資料

株主総会資料を

紙で確認



これからは...



- 議決権行使書
- 通知書面

株主総会資料を

ウェブで確認



インターネットのご利用が困難な株主様は2022年9月1日以降、
書面で受領するための手続き (書面交付請求)が可能です。



書面交付請求とは?

インターネットを利用することが困難な株主様を保護するためのお手続きです。お申し出いただいた株主様には株主総会資料を書面でお送りします。
なお、書面交付請求を行わなくても、URL等を記載した通知書面はお送りします。



書面交付請求の受付期限は?

2023年3月31日までにお申し出が必要です。
お手続きには2週間以上お時間がかかる場合がございますので、余裕をもってお手続きを行ってください。



お手続き方法は?

証券会社にお申し出の場合は、保有銘柄の口座を開設している証券会社へお問い合わせください。
株主名簿管理人にお申し出の場合は、書面での受領を希望される銘柄ごとに申出書面のご提出が必要です。

【本件に関するお問い合わせ先】 三井住友信託銀行 証券代行部



0120-533-600

受付時間 9:00~17:00 (土・日・休日を除く) ぜひQ&Aもご利用ください。 <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>



藤倉コンパジット株式会社

〒135-0063 東京都江東区有明3-5-7 TOC有明
(証券コード: 5121)

この中間報告書は、当社のプランケットを
使用して印刷しております。

